

知識・知恵の蓄積と発信

～ 水害避難のための私たちのチェックポイント！ ～

■ 水害時の心得を簡潔にわかりやすく提供

1. 動きやすい服装で。運動靴で。ヘルメットをかぶりましょう。



2. 状況に応じて2階以上や近所の高い建物へ避難しましょう。



7. 足元に注意。浸水している場所を歩くときには棒などでマンホールや側溝などに注意しましょう。



8. ロープにつながって。小さい子供などは大人とロープでつながしましょう。



福井県美浜町ホームページより 29

知識・知恵の蓄積と発信

～ 水害避難のための私たちのチェックポイント！ ～



歩ける深さのめやすは、膝くらいまでです。水深さが腰まであればときは無理に歩かず、高い場所で救助を待ちましょう。



裸足やゴムぞうりはケガしやすく、長靴は中に水が入ると重くて歩きにくく脱げやすくなります。ひもで締められる運動靴をはきましょう。



たとえ膝までの水深でも、歩くときは危険が伴います。はぐれないようにロープでお互いの体をつなぎ、避難しましょう。



長い棒などを杖がわりにして水の中を探り、段差や側溝に足を取られないよう、安全を確認しながら歩きましょう。

猪名川河川事務所ホームページより抜粋 30

知識・知恵の蓄積と発信

～家庭でできる簡易水防工法～


- 水害時の行動をシンプルにわかりやすく提供

水防ひとくちメモ **家庭でできる簡易水防工法**

1 ごみ袋を使った水防工法

2重にしたごみ袋に水を入れ、家の出入り口などに並べることにより、水の浸入を低減させます。



※ 注意
ダンボール箱を併用するとごみ袋が流されにくくなります。



2 ポリタンクを使った水防工法


水を入れたポリタンク等をシートで包み、水の浸入を低減させます。

※ 注意
土を入れたプランターを利用すれば、さらに水への抵抗力が増します。



3 木の板を使った水防工法

木の板などを土のうで固定するだけでも、水の浸入を低減することができます。



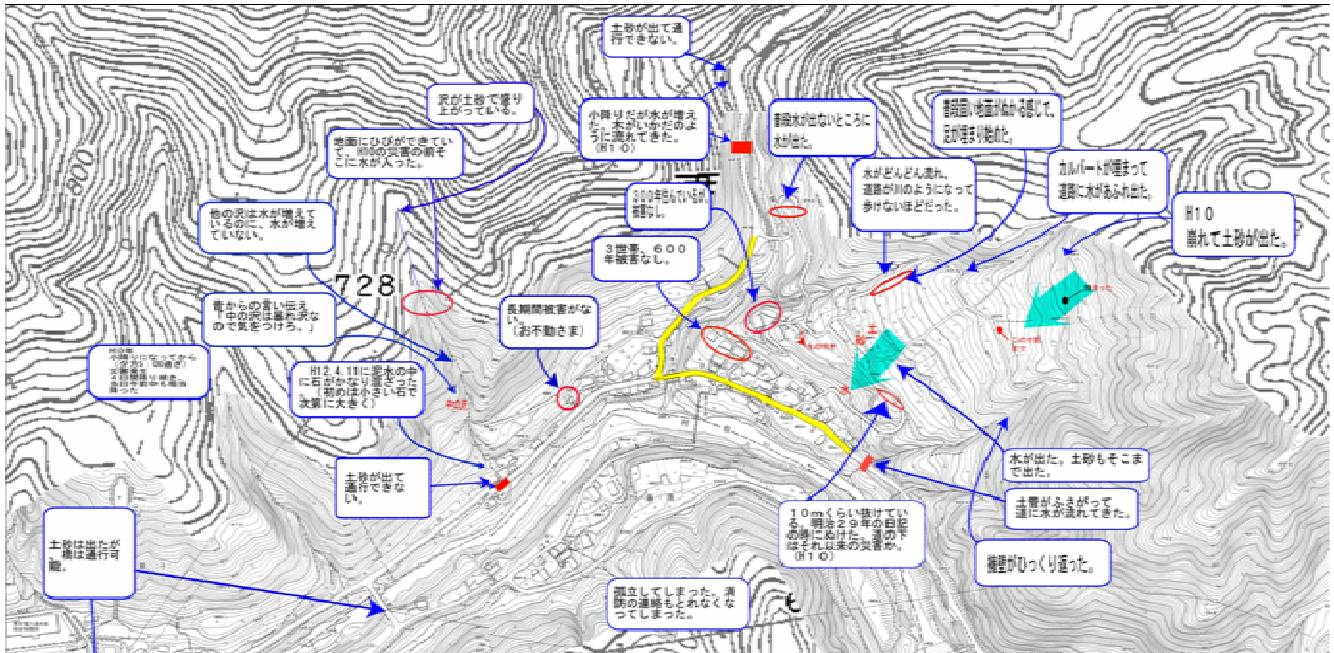
出典：徳島県河川国道事務所・那賀河川事務所 31

3. つなぎ(世代間・主体間)、 ひろげる(老若男女)取り組み

つなぎ、ひろげる取り組み

～ 住民自らによる地域に伝わる言い伝えの集約作業(群馬県水上町)～

過去の災害時に、どんなことが地域に起こったのか？
先祖から地域に伝わる『言い伝え』などをマップ上に記入



出典:防災講演会(群馬大学大学院片田教授)資料の転載 33

つなぎ、ひろげる取り組み

～ 住民主体の洪水ハザードマップづくり、避難訓練(草津市)～

住民協働によるハザードマップ作り
浸水想定区域図を基に、住民自ら避難経路等を選定し、洪水ハザードマップ作りに参画



ハザードマップ配布に合わせた洪水避難訓練
マップの配布5月1日、訓練実施5月27日
行政内情報伝達演習
洪水避難訓練
洪水に対する体験と学習
水防訓練

出典:草津市H34

つなぎ、ひろげる取り組み

～水害図上訓練「R-DIG」(静岡県磐田市)～

- 県河川部局(袋井土木事務所)・防災部局(西部地域防災局)・市(磐田市)が、洪水ハザードマップを普及させる方法として共同開発
- 災害図上訓練 DIG (Disaster Imagination Game) :
 - 大きな地図を囲みながら参加者全員で災害時の対応策などを考える。
 - 河川の位置や避難所の位置等を参加者同士で話し合いながら地図に書き込むことで、地域の災害リスクや災害時にとるべき行動に対する理解を深める。



行政職員によるR-DIG



消防職員によるR-DIG



子供たちによるR-DIG

県内でも12月に実施
(石部町西区)

出典・資料提供: 静岡県袋井土木事務所

つなぎ、ひろげる取り組み

～子どもを介したリスクコミュニケーション(岩手県釜石市)～

- 防災講演会等の行政が開く啓発イベントでは、子どもを持つような若い世代の参加は極めて少ない。

そこで、子どもを介したリスク・コミュニケーション！

- 子どもとその親を対象としたアンケート調査
子どもが学校で回答したアンケートを親がチェック



Q. 家に一人で居る時に、大きな地震が発生しました。あなたならどうしますか？

A. お母さんに電話する。

Q. お子さんの回答をご覧になって、お子さんが津波に遭遇したとき、無事に避難することができると思いましたか？

A. ……どちらともいえない



子どものことは心配

津波は無関心

- 学校での防災マップづくり
- 親と一緒に通学路の点検
- 津波110番の家
通学・帰宅途中で助けを求める「津波110番の家」を親子で決め了承を得る。



出典: 防災講演会(群馬大学大学院片田教授)資料を編集・転載

つなぎ、ひろげる取り組み

～ 三世代交流型調査(高島市他)～

- 次世代への水害体験の伝承を目的とし、水害体験者への体験談インタビュー及びワークショップ開催を実施。同時に掘り起こした体験談や当時の水害写真のとりまとめを実施している。
- 滋賀県内では、高島市(安曇川、知内川、百瀬川)、甲賀市(大戸川)、大津市(千丈川)、長浜市(高時川)、守山市(野洲川)、野洲市(日野川)で実施



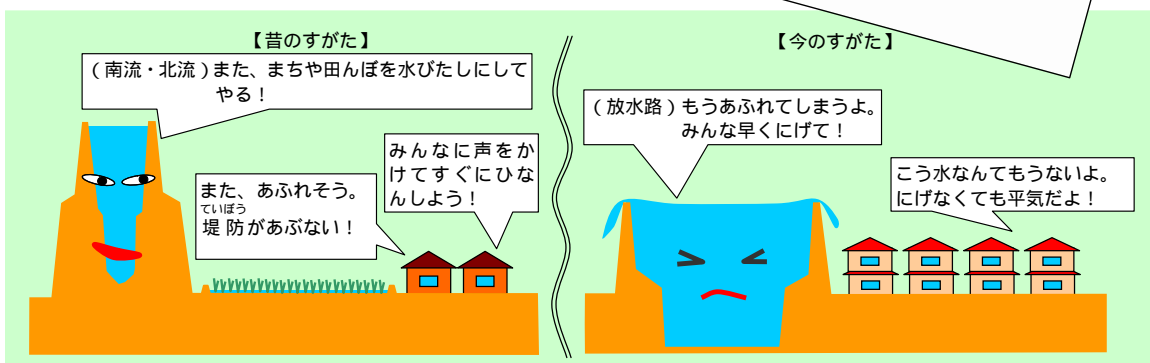
出典: 淀川河川事務所 37

つなぎ、ひろげる取り組み

～ 副読本を活用した学校での防災教育(守山市)～

『野洲川の豊かな自然を未来へ』

- 郷土史学習用教材「わたしたちの守山」の副読本として作成。(環境学習が主の読本)
- 国土交通省琵琶湖河川事務所が、守山市教育研究所のアドバイスを受けながら編纂。平成19年度に市内の一部の小学校に配布。
- 水害との戦いの歴史や野洲川改修事業の学習と合わせて、野洲川改修後にあっても超過洪水への備えの重要性について学習。
- 読本の中の挿絵



つなぎ、ひろげる取り組み

～地域と連携した学校での防災教育(横浜市立新羽中学校)～

- 学年ごとにテーマを決めて、**防災活動に参加**
- **地域の人たちと交流**することにより命を守る助け合いの絆を強くする。



危険な場所をチェック。
防災マップ作り / 1年生

救命救急実習 / 3年生

地域の人たちとの
合同訓練 / 2年生



福祉よこはまホームページより 39

つなぎ、ひろげる取り組み

～こども防災キャンプ(高知県)～

- 子ども達が家族や地域とともに災害についての知識を学習し、いざという場合の対応方法を実習することで、子ども達が自ら自分の安全を守る力を身につけることを目的に、小学校での防災教育学習として「こども防災キャンプ」を開催

今まで行われた学習項目



大粒くん小粒ちゃん



起震車体験



南海地震コーナー(クイズ)



灯りづくり



非常炊飯(ビニール袋炊飯)



ロープワーク

高知県ホームページより 40